2023年度

運輸安全マネジメントに 関する取り組みについて

事　業　の　種　類

一般乗合旅客自動車運送事業

一般貸切旅客自動車運送事業

一般乗用旅客自動車運送事業

特定旅客自動車運送事業

関越交通株式会社

【現状の取組】事業者独自の優良取組事例の調査（車内事故対策）

国土交通省

○ 事業者による優良取組事例を運送業界内に横展開することで、他事業者でも取組を実施する際の参考とされるよう、運転者に対する指導やバス利用者や一般ドライバーに対する働きかけの内容、運転者をサポートする機器について調査。

○ 今後、国土交通省ホームページ内に専用ページを作成する予定。

事例① 運転者に対する指導

高齢の利用者がいる場合には特に運転操作に気をつけること等の運転時の留意点の伝達や高齢者を疑似的に体験できるグッズを用いた指導を実施。

車内事故を防止するための留意点をまとめたポスターを掲示して運転者に注意喚起。

掲示しているポスターの例
（提供：関越交通株式会社）

事例② バス利用者に対する働きかけ

業界団体や国土交通省（地方運輸局）が作成したポスターをバス車内に掲示。

業界団体が作成したポスターの例
（提供：公益社団法人 日本バス協会）

中部運輸局が作成したポスターの例

☆2021年に国土交通省ホームページで採用されたポスター（沼田営業所　豊野所員　作成）

当社では輸送の安全に対する取り組みとしてポスターを作成し、注意喚起・事故防止を図っています。

2022年12月20日

ひやり・はっと『重点注意事項』

～2022年度第3回本部運輸安全マネジメント委員会選定～

◎ 歩行者・自転車の安全確保 ～飛び出しに注意！

歩行者、特に子どもや自転車は、急な飛び出しや進路変更、信号無視等、思わぬ行動に出ることがあります。

KYT教養を活かし、

- 危険予測に基づく動静注視の励行
- 側方通過時の十分な間隔の保持と減速
- 不意な行動にも即応できる安全な速度

に努めてください。

◎ タイヤのホイールナットの点検 ～車輪脱落防止！

ホイール脱着後は、走行による初期なじみによりホイールの締め付け力が低下します。

100km走行を目安に、「ホイールナットの増し締め」を行って下さい。

- タイヤ交換などホイール脱着後は特に注意
- タイヤ脱落は、重大事故に直結
- 特に脱落が多いのは「左後輪」

運行前に、目で見て、点検ハンマーを使って手で触って緩みの点検を！

◎ 冬季におけるチェーン着装 ～スリップ事故防止！

厳冬期を迎え、積雪・凍結に起因するスリップ事故の発生が危惧されます。

道路における降雪・凍結情報を把握し、

- 早めのチェーン装着
- 道路・気象状況に応じた安全速度と車間距離の確保
- 急発進・急加速・急制動・急ハンドルの厳禁
- 積雪・凍結要注意個所の把握と乗務員相互の情報共有

等により事故の絶無を図って下さい。

関 越 交 通 株 式 会 社

運輸安全マネジメントに関する取り組みについて

当社においては、輸送の安全を確保するため、様々な取り組みを行ってまいりました。

しかしながら、過去においては重大な事故を発生させてしまったこともあり、この事実を忘れることなく、安全の確保に終わりはないことを改めて認識し、当社の安全の原点となる輸送の安全目標である、

１　安全運行・安心提供……お客様に安心と良いサービスを提供する

２　安全運行・信頼獲得……会社と従業員の信頼がより高められる

３　安全運行・生活安寧……全従業員が滞りなく穏やかに生活できる

を定着させるとともに、下記のとおり従業員が一丸となって取り組んでまいります。

記

１　輸送の安全に関する基本的な方針

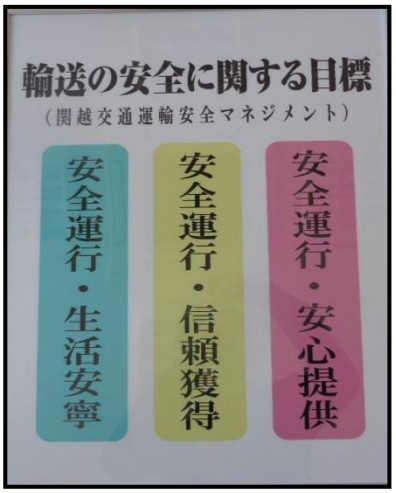
⑴　取締役社長は、「輸送の安全の確保」が事業経営の根幹であることを深く認識し、お客様は勿論のこと、事業環境における安全確保を第一に考える活動を実施してまいります。

また、経営トップから従業員一人ひとりに対し旅客自動車運送事業者の絶対的使命である輸送の安全を最優先するための安全意識を浸透させ、さらに社会の変化に鋭意対応しながら、確固たる安全体制の構築を図ってまいります。

⑵　当社は、５つの「経営理念」（安全運行・サービス向上・収益拡大・法令遵守・社会貢献）を掲げ安全運行を第一に取り組んでおります。

⑶　当社は、日々の業務に潜む危険要因の排除に努め、輸送の安全に関する計画の策定・実行・チェック・改善（Plan・Do・Check・Act）を確実に実施するとともに、常に安全管理体制や安全対策の見直し・改善についての研鑽を図りながら、従業員一丸となって「安全・安心」な運行を推進してまいります。

⑷　事故や災害等が発生した場合には、お客様等負傷者の救護を最優先に行い、関係機関との連携を密にしながら、被害の拡大防止及び早期復旧を図るとともに、輸送の安全に関する情報について、積極的に公表いたします。



＊本社・営業所内に掲示し、常に全社員に周知し方針に則り業務を遂行しております。

２　事故防止目標

⑴　近年における有責事故発生状況

	目標件数	結　　果
2020 年度	10 件以内	15 件
2021 年度	8 件以内	9 件
2022 年度	8 件以内	12 件

⑵　２０２３年度輸送の安全に関する事故防止目標

- 事故防止目標　全車両１９７両に対して、有責事故８件以内
- 発進時、バス停、信号交差点、横断歩道での指差呼称の完全実施
- ドライブレコーダー映像による指導と抜き打ち添乗指導の強化
- ドライブレコーダー映像を用いた危険予知トレーニング（ＫＹＴ教育）の強化
- 点呼時における運転手への具体的指示の徹底と運行管理者に対する指導強化
- 厳冬期（１２月～３月）における有責事故ゼロ件の達成

⑶　２０２３年における重点事項

- 車内事故（転倒・ドア挟み事故）　「ゼロ」
- 交差点における事故　「ゼロ」
- 駅構内、バス停での事故　「ゼロ」
- 車両後退時の事故　「ゼロ」
- 飲酒、危険ドラッグ等の薬物運転の絶無　「ゼロ」
- ＩＣ関係営業事故　「ゼロ」

３　安全管理規程

別紙１のとおりです。

４　安全統括管理者

関越交通株式会社
取締役総務部長　信澤　茂

５　輸送の安全に関する重点施策

⑴　輸送の安全確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守いたします。
⑵　輸送の安全の確保に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行います。
⑶　輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置または予防措置を講じます。
⑷　輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有いたします。
⑸　輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを的確に実施します。

６　輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統

安全管理連絡体制を構築しております。……別紙２のとおりです。

７　事故・災害等に関する報告連絡体制

「事故・災害等が発生した場合における報告連絡体制」及び「重大事故等緊急時連絡体制」を整備し、安全統括管理者を中心として、迅速な事案対応が図れるよう組織体制を確立しております。　……別紙　３　のとおりです。

８　輸送の安全に関する取り組み計画と教育の計画

安全管理体制の向上を目的に、社長と安全統括管理者、役員及び現場責任者（営業所長等）との事故防止対策等の意見交換を含む会議を開催し、情報の共有化を図るとともに、ドライブレコーダー映像を用いた危険予知トレーニング（ＫＹＴ）教育を実施します。

⑴　本部運輸安全マネジメント委員会（年３回）

本委員会は、経営レベルと現業部門責任者による会議で双方での情報共有を図るため４月、９月、１１月に開催し、社長以下各取締役の出席のもと、労働組合執行役員、営業所長等幹部職員が出席し、会社の方針や交通事故防止に関する意思統一を図ることを目的に開催します。

- 安全運動等の各種取り組みに関する方針
- 営業所別交通事故の発生状況（報告・分析・共有）
- 危険予知トレーニング（ひやり・はっと映像）
- 防災に関する取り組み

などをテーマとして行います。

⑵　現場運輸安全マネジメント委員会（毎月）

本委員会は、各営業所において、交通事故防止等をテーマにして毎月開催する会議で、年１回、社長及び安全統括管理者（取締役）がオブザーバーとして出席します。

- 交通事故の発生状況(原因の共有)及び事故防止に向けた指導・教養
- ドライブレコーダー視聴による危険予知トレーニング
- 災害発生時の対応

などをテーマとして行います。

なお、２０２２年度社長及び安全統括管理者出席の委員会は、２月中に沼田営業所(鎌田営業所を含む)及び吾妻営業所で開催し、３月中に渋川営業所及び前橋営業所で開催し、経営レベルと現業部門の情報共有、現場における現状や要望等の意見交換を行いました。

⑶　運輸安全マネジメント連絡会（年８回開催）

本連絡会は、本社営業部が主催する会議で、年８回(４月・６月・７月・９月・１１月・１月・２月・３月)開催します。

連絡会には、社長及び安全統括管理者、各取締役、監査役、各営業所長等が出席し、事故発生状況や個別発生事故原因分析を行い、事故再発防止策の具体的方策を打ち出すとともに、年度計画に対する結果や今後の取り組みについて報告を求め、報告に基づく方針について検討し周知することを目的に開催します。

- 交通事故発生状況(報告・分析)
- 安全運動の実施に対する周知及び指導
- 輸送の安全に関する計画(指導・教育計画)の実施計画

などをテーマとして行います。

以上の会議体は、社長及び安全統括管理者、会社役員と現場職員との意見交換の場であり、安全管理体制や取組計画、交通事故防止等に対する検討の場でもあります。

【本部運輸安全マネジメント委員会状況】

【現場運輸安全マネジメント委員会状況】

運輸安全マネジメント連絡会状況】

⑷　安全運動の実施

年４回の交通安全運動や年末年始輸送等に関する安全総点検などにおいて、交通安全運動を中心とした輸送の安全性向上に努めています。

春及び秋の全国交通安全運動、年末年始輸送等に関する安全総点検では、営業所に対する社長・安全統括管理者の巡視を行い、士気の高揚と安全意識の向上を図ります。

また、各種運動期間中には、運輸安全・災害対策チームによる早朝点呼立会いや街頭活動を行います。

【全国交通安全運動期間中の早朝点呼立会い及び街頭指導の状況】

⑸　運輸防災マネジメントに対する対応

対処訓練を計画的に実施し、自然災害発生時には、お客様や関係者の安全確保を最優先とした対応が重要であることを再確認しております。

行政や警察と連携した訓練に多くの職員が参加して、災害発生時には的確な対処ができるよう準備していきます。

【台風想定訓練状況】

【地震想定訓練状況】

【豪雪時対応訓練状況】

⑹　教育計画

引き続き輸送の安全に関する教育及び研修計画並びに指導教育計画を作成したうえで、従業員研修を実施し、事故防止・事故の削減・安全運行の定着化を図ってまいります。

⑺　健康面の安全に関する検査等の推進

当社の経営理念である「安全運行」には、運転手の健康管理が事故防止上、重要であることから、次のとおり健康起因事故の防止に努めていきます。

①　健康診断と各種検査の実施

・　定期健康診断　　・　深夜業務従事者健康診断
・　特殊健康診断（整備士）　　・　睡眠時無呼吸症候群検査
・　脳ドック　　等

②　健康管理指導

国土交通省が策定する「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」、「自動車運送事業者における睡眠時無呼吸症候群対策マニュアル」等の各種マニュアルを活用して運転手の健康状態の把握と適切な指導を行います。

法令に基づく定期健康診断をはじめ、睡眠時無呼吸症候群検査や脳ドック検査、心疾患検査についても計画的に推進します。

⑻　輸送の安全に関する投資等の実績

輸送の安全性とお客様の利便性の向上を目的として実施した設備に関する安全対策の主な投資状況は次のとおりです。

《２０２３年度設備等投資計画》

①　車両の代替

ア　新車購入

乗合　３両　……90,000 千円

イ　中古購入

乗合　５両　…… 6,000 千円

②　教育関係

ア　管理者レベルアップ講座　……660 千円

イ　バス運転者技能研修（自動車安全センター）……120 千円

③　安全に関する投資

各種検査等に関わる健康管理対策費　……5,220 千円

９　輸送の安全に関する取り組み結果及び教育の実績

⑴　２０２２年度における有責事故抑止目標と輸送の安全に関する取り組み結果

・事故防止目標　全車両１９８両に対して、有責事故８件以内
　　結果　発生件数１２件（乗合１１件、貸切１件、前年比+３件）
・輸送の安全確保のため、「事業経営の根幹」に基づく「安全・安心」の強化徹底
・三現主義（現場・現物・現実）の徹底と指導強化

⑵　２０２２年における重点事項

・車内事故（転倒・ドア挟み事故）	目標	「ゼロ」	（結果　０件）
・基本的運転操作不適による事故	目標	「２件以内」	（結果１０件）
・交差点における事故	目標	「１件以内」	（結果　０件）
・車両後退時の事故	目標	「２件以内」	（結果　２件）
・飲酒・危険ドラッグ等の薬物運転の絶無	目標	「ゼロ」	（結果　０件）
・その他（ＩＣ関係営業事故）	目標	「ゼロ」	（結果　４件）

①　基本的運転操作不適による事故の事故原因と再発防止策について

ア原因・・・・・安全確認不足、運転操作不適、漫然運転、指差呼称の未実施速度超過等による。

イ再発防止策・・指差呼称の完全実施、安全確認の徹底、安全な速度での運行防衛運転（譲り合い）運転の徹底等の基本ルールを遵守した運転を心掛けることとした。

②　車両後退時の事故の事故原因と再発防止策について

ア原因・・・・・後退時の安全確認不足、漫然運転、バックカメラの不活用等による。

イ再発防止策・・降車して車両周囲の確認、バックカメラを過信しない運転の徹底、窓を開け目視確認の徹底、外部からの情報（音などの五感を活用する）も得る、他車の後退時に自らが後方確認を行うなど連携意識の向上を図ることとした。

③ＩＣ関係営業事故の原因と再発防止策について

ア原因・・・・・停留所通過時の通過ボタンの押下忘れおよび手動による金額設時の誤入力により誤収受を発生させた。

イ再発防止策・・機器操作の際は指差呼称により確実な操作確認を行い、万一誤操作をした際は誤収受防止マニュアルによる旅客への適切な案内と手動操作による金額設定をするよう再教育を行った。

⑶　社内における教育の実績

①　経営トップと現業部門との情報共有

社長及び安全統括管理者、会社役員と現場部門（営業所）の責任者等との情報共有を図るため、「運輸安全マネジメント委員会」及び「運輸安全マネジメント連絡会」を定期的に開催し、輸送の安全に関する知識の習得と意識の高揚を図りました。

【運輸安全マネジメント委員会での社長訓示】

【安全運動期間中の社長巡回指導】

②　本社部門及び運輸安全・防災対策チームによる指導

本社部門及び運輸安全・防災対策チームが適時各営業所に出向き、各種書類点検、添乗指導、各種訓練、危険予知トレーニング（ＫＹＴ）等の集合教育を実施し、指導の連携強化を図りました。

運輸安全マネジメントに係る各種会議において、経営トップである社長をはじめとする本社幹部職員と現場職員との意見交換、安全管理体制や取組計画及び事故防止についての検討を進めることができました。

２０２３年度は、本社管理部門と営業所との更なる連携強化を図るため、各種会議を引き続き開催するとともに、運輸安全・防災対策チームを中心に、具体的な指示による全運転者までの周知を図ります。

③　運行管理者・運転者への教育

運行管理者に対しては、本社部門が営業所に出向いて運行管理状況を確認し指導を行なっているほか、独立行政法人自動車事故対策機構（ＮＡＳＶＡ）の一般講習等各種研修を受講しました。

運行管理者は、輸送の安全に関する教育及び研修計画並びに指導教育計画に基づき、運転者に対する教育を実施しました。

また、交通安全運動にあわせた街頭指導、添乗指導、緊急事態・自然災害対処訓練、タイヤチェーン着脱等の基本的技能訓練等を行いました。

２０２３年度も、早朝点検や街頭活動を実施して、安全輸送を確立してまいります。

【交通安全運動期間中における街頭指導】

④　運転技能コンクール

高度な運転技能を競い、バス乗務員としての使命感や安全意識の高揚を図り、営業所間の乗務員が運転技術を共有することで会社全体のスキルアップ及びレベルアップに取り組むバス技能コンクールを２０２０年より実施しております。（２０２２年度で３回目）

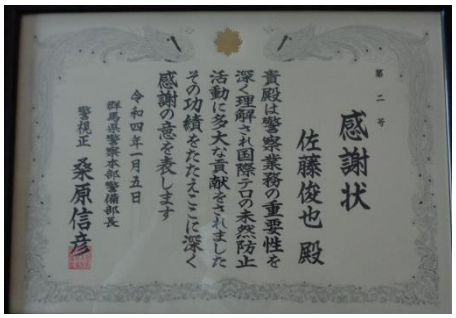
今後とも「安全対策に終わりはない」という意識のもと、お客様に信頼され、愛される会社を目指していきます。

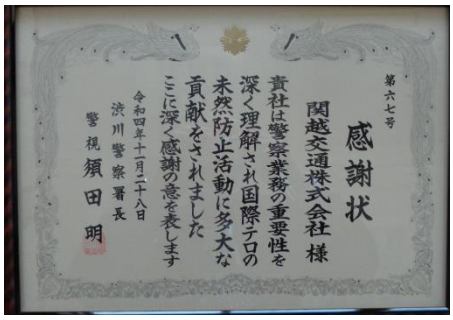
【当社バス運転技能コンクール】

⑤　官民合同テロ訓練の実施

２０２２年１１月１１日、ＪＲ渋川駅において群馬県警察本部・渋川警察署ＪＲ東日本・当社による官・民合同テロ対策訓練を実施しました。

テロ対策の功労により、警察本部警備部長及び渋川警察署長より感謝状を受領しました。


第二号
感謝状
佐藤俊也 殿
貴殿は警察業務の重要性を深く理解され国際テロの未然防止活動に多大な貢献をされましたその功績をたたえここに深く感謝の意を表します
令和四年一月五日
群馬県警察本部警備部長
警視正 桑原信彦


第六七号
感謝状
関越交通株式会社 様
貴社は警察業務の重要性を深く理解され国際テロの未然防止活動に多大な貢献をされましたここに深く感謝の意を表します
令和四年十一月二十八日
渋川警察署長
警視 須田明

【官民（群馬県警察・ＪＲ東日本・当社）連携によるテロ対策訓練】

⑥　自転車の交通安全教室資料（ＤＶＤ）の作成

小学生と中高校生向けの「動画で学ぶ交通安全教室」のＤＶＤを作成しました。

同ＤＶＤについては、群馬県バス協会が主催するバス乗り方教室等で視聴を予定しております。

今後も地域の交通安全推進活動に取り組み、地域との連携を重視してまいります。

⑦　運転者の教育

運転者に対しては、本社部門が現地に出向いて、運行管理者等とともに教育や早朝点呼への立会い、街頭指導、添乗指導を行いました。

また、入社１年未満の運転者を対象とした「キャリアップ研修」や有責事故を発生させた運転手を対象とした「フォローアップ研修」を実施し、輸送の安全性向上に努めました。

そのほか、各季における交通安全運動（年４回）、会社独自の旅客サービス・事故防止強化期間や年末年始の「輸送の安全総点検」等の機会をとらえて、各営業所所で危険予知トレーニング（ＫＹＴ）教育（自社ひやり・はっと及びドラレコ映像による教育）、小集団教育などの運転者教育により、輸送の安全性向上に努めました。

【営業所での小集団教育・実車訓練】

【実車を使用した車いす対応訓練】

【営業所でのチェーン着脱訓練】

【台風発生・地震発生を想定した机上訓練（子持社会体育館）】

【キャリアアップ研修】

【フォローアップ研修】

【バス雪上訓練（雪上走行・チェーン着脱）訓練】

⑧ 外部講師による教育

国土交通省及び自動車事故対策機構（ＮＡＳＶＡ）、バス協会等の外部機関・団体が主催するセミナー、株式会社ディ・クリエイトによる「管理者レベルアップ講座」等に積極的に参加し、社内の研修教育のレベルアップを図りました。

また、ひたちなか市の自動車安全運転センター安全運転中央研修所に運転者を派遣し、新人指導にも対応できる人材育成を図っています。

２０２２年度は、計画通りに教育・訓練を実施することができました。

また、危険予知トレーニング（ＫＹＴ）については自社ドラレコ映像（ひやり・はっと映像）で作成し、集合教育等により安全に対する意識の改革を実施しました。

２０２３年度は、運輸安全・防災対策チームを中心に、教育計画の実施状況を毎月１回検証してＰＤＣＡサイクルを確実に実施し、技術継承による人材育成を図ります。

⑵ 外部講習への参加実績

2022 年度の各種外部講習等への参加実績は以下のとおりです。

・ 4 月 20 日	ディ・クリエイト主催　管理者レベルアップ講座	3 名受講
・ 4 月 25 日	関東運輸局主催　公共交通シンポジウム	1 名受講
・ 5 月 12 日	ディ・クリエイト主催　管理者レベルアップ講座	3 名受講
・ 6 月 14 日	ディ・クリエイト主催　管理者レベルアップ講座	3 名受講
・ 6 月 24 日	国土交通省主催　運輸防災マネジメントセミナー	2 名受講
・ 8 月 1 日	東武鉄道（株）「安全の日」　根津社長訓示	1 名出席
・ 8 月 1 日	東武鉄道（株）主催　交通事業者安全推進連絡会	1 名出席
・ 8 月 31 日	国土交通省主催　バス事業の運輸防災と法令遵守講習会	2 名受講
・ 9 月 20 日	ブリヂストンタイヤ主催　車輪脱落事故防止セミナー	1 名受講

・10 月 17 日　国土交通省主催　運輸事業の安全に関するシンポジウム　2 名出席

・10 月 23 日　東京バス協会主催　バスドライバー安全運転コンテスト　2 名視察
・11 月 25 日　朝日グループ主催　運輸安全マネジメント常勤役員研修会　4 名受講
・12 月 15 日　群馬県バス協会主催 事故防止講習会　3 名受講
・12 月 16 日　群馬県バス協会主催 事故防止講習会　5 名受講
・1 月 30 日　安全運転中央研修所 旅客自動車運転者課程 4 日間　1 名受講
・2 月 8 日　群馬日野自動車主催 整備士技術講習会　8 名受講
・2 月 9 日　群馬県警察本部開催 テロ対策協議会総会　2 名出席
・3 月 7 日　群馬県バス協主催　国際テロリズム未然防止講習会　5 名受講
・2 月 7 日　国土交通省認定セミナー（ガイドラインセミナー）　4 名受講
・2 月 13 日　国土交通省認定セミナー（リスク管理セミナー）　4 名受講
・3 月 8 日　国土交通省認定セミナー（内部監査セミナー）　4 名受講

⑶　その他の各種取り組み

①　救急救命講習

お客様の命を守るため、心肺蘇生法・ＡＥＤの使い方などを乗務員および事務員を対象に、消防士を講師に招き、救急救命講習を受講しています。

【消防署員による救急救命講習】

②　ひやり・はっと情報の共有

運転者からひやり・はっと体験を情報収集し、その内容のドラレコ映像を本社部門で危険予知トレーニング（ＫＹＴ）教養資料として情報共有し、乗務員の事故防止教育（乗務員間の意見交換等）に役立てています。

⑷　運輸防災マネジメントに対する対応

２０２２年度は、頻発し激甚化する自然災害（暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火その他の異常な自然現象により生ずる被害）への対処能力向上を目的に、本社管理部門と営業所が連携した自然災害対処訓練（３回）の実施や国土交通省が主催する運輸防災マネジメントセミナー（１回）に担当部署課長２名が参加しました。

《２０２２年度設備等投資実績》

①　車両の代替

ア　新車購入

乗合　４両　……62,000 千円

イ　中古購入

乗合　５両　……14,300 千円

② 新型コロナウイルス感染予防の投資実績
光触媒・無光触媒コーティング
…… 1,000 千円

③ 教育関係
ア 管理者レベルアップ講座 ……660 千円
イ バス運転者技能研修（自動車安全センター）……120 千円

④ 安全に関する投資
各種検査等に関わる健康管理対策費 ……5,220 千円

１０ 事故統計（自動車事故報告規則第２条に規定する事故）

２０２２年度、自動車事故報告規則第２条に規定する事故に関する統計に基づき、関東運輸局群馬運輸支局に報告した事故は次の２件（路上故障）です。

⑴ 乗合バス渋川高崎線における路上故障（前橋営業所）

２０２２年５月２９日、群馬県高崎市福島町地内の福島バス停において、停車したバック以外にギヤが入らず自走不能となったものです。

事故原因は、ドアの開閉信号を処理する「ドアコントローラー」の端子が腐食しドアの開閉信号が正常に伝達されず、動力伝達装置が遮断されたことによりギヤが入らなくなったことと判明したことから、車両異常検知時は直ちに運行管理者に報告することと、定期点検時にドアコントローラーの腐食状況の確認を行うことで、再発防止を図りました。

⑵ 乗合バス渋川前橋線における路上故障（渋川営業所）

２０２３年２月１８日、群馬県前橋市関根町地内の関根バス停において、降車扱いのため停車し、発進しようとしたところ、空気圧が上がらず自走不能となったものです。

事故原因は、コンプレッサーのエアーチャージホースの亀裂からエアが漏れていたためタンクに空気が溜まらず自走不能に陥ったことが判明したことから、空気圧力計等の計器類に異常が認められた場合には安全な場所で停車し、直ちに運行管理者に報告することを再徹底し、再発防止を図りました。

⑶ ２０２３年度は、路上故障ゼロを目指し、点検整備の徹底や異常発生時の早期対応について推進してまいります。

１１ 輸送の安全に関する内部監査結果及び改善措置

各営業所に対する内部監査を実施し、帳票ほか各種書類の作成・保管管理状況などについて確認いたしました。

２０２３年度も計画的に内部監査を実施し、更なる安全性向上に取り組んでまいります。

１２ 行政処分

以上のとおり、全社をあげて安全輸送に取り組んだ結果、２０２２年度における行政処分はありませんでした。